

図書だより

2025



種子島中央高等学校図書館

はるつげぐさ

別名「春告草」「匂い草」とも呼ばれる梅は、その美しさや香りから長らく人々に愛されてきました。我が国最古の和歌集『万葉集』巻五には、歌人の大伴旅人郎で梅見の宴が開かれ、山上憶良などの歌人たちが多くの梅の歌を詠んだことが記されており、当時は「花」といえば梅の花を指すほどでした。

本校にも、生徒棟南側の中庭に紅梅の木があるのをご存知ですか。このところの寒波にも負けず咲いています。万葉の歌人に思いをはせながらプチ花見をしてみるのもいいですね。



芥川賞・直木賞決まる

1月16日に、第172回(2024年後期)の芥川賞と直木賞の受賞作が決定しました。芥川賞は新進作家による純文学の中編・短編の中から、直木賞は新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本から選ばれます。

直木賞受賞作品「藍を継ぐ海」は図書館にありますので、ぜひ読んでみてくださいね!

【芥川賞】

・「D'TOPIA」安堂 ホセ

・「ゲートはすべてを言った」鈴木 結生

【直木賞】

・「藍を継ぐ海」伊予原 新



寄贈本の紹介

日本教育公務員弘済会鹿児島支部様から図書を寄贈していただきました。歴史や公共分野の18冊です。カウンター横に特設コーナーを設置しているので、学習の参考にしてみてくださいがいかがでしょうか?



あたり

ほん

新しい本のおしらせ

新しい図書が入りましたので一部ご紹介しします。新着図書コーナーに展示・配架中です。

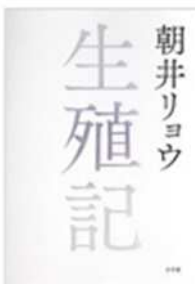
- ・タナトスの蒐集匣(芥川龍之介ほか)
- ・エレファントヘッド(白井智之)
- ・笑う森(荻原浩)
- ・禁忌の子(山口美桜)
- ・一線の湖(砥上裕将)
- ・ゆびさきに魔法(三浦しをん)
- ・七十歳死亡法案、可決(垣谷美雨)
- ・満月珈琲店の星詠み(望月麻衣)

- ・一冊でわかるシリーズ 平安時代～大正時代
- ・ヘンな科学“イグノーベル賞”研究40講(五十嵐杏奈)
- ・世界史は化学でできている(左巻健男)
- ・観光客を助ける英会話(濱崎潤之輔)
- ・誰も知らないわたしたちのこと(シモーナ・スパラコ)
- ・美人画で味わう江戸の浮世絵おしゃれ図鑑(赤木美智)
- ・覚悟の磨き方 超訳吉田松陰(池田貴将)
- ・ぶつり学入門(三澤信也) …ほか



2025年ノミネート作決定!

本屋大賞



「アルプス席の母」★
早見 和真
(小学館)
高校球児ではなく、母を主人公に野球を描く。

「カフネ」★
阿部 暁子
(講談社)
ライトノベルでも活躍中の作家が描くやさしさ。

「禁忌の子」★
山口 美桜
(東京創元社)
医療×ミステリーの作者デビュー作。

「恋とか愛とかやさしさなら」★
一穂 ミチ
(小学館)
→前回の直木賞「ツミデミック」の作者。

「小説」☆
野崎 まど
(講談社)
→「君はなぜ小説を読むのか」…答えは？

「死んだ山田と教室」★
金子 玲介
(講談社)
→笑いながら読んでいたはずなのに…。

「spring」★
恩田 陸
(筑摩書房)
→「夜のピクニック」「蜜蜂と遠雷」で本屋大賞受賞。

「生殖記」★
朝井 リョウ
(小学館)
→「ヒト」を第三者目線で描くようになる!?

「成瀬は信じた道をいく」★
宮島 未奈
(新潮社)
→成瀬はやっばり成瀬。前回本屋大賞の続編。

「人魚が逃げた」☆
青山 美智子
(PHP研究所)
→本屋大賞ではここ数年候補入りしている作家。

そもそも本屋大賞とは？

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定されました。…つまり、本を売るプロの「激推しベスト10!!」ということなのです。さらにこの中から投票で4月に大賞が決定します。

現在、図書館には6作品(タイトルの後ろに★印付き。☆は注文中。)所蔵していますので、何を讀もうか迷ったときは参考にしてくださいね。また、お探しの本が見つからないときには遠慮なくおたずねください。

